

技術者が自ら学び実践する経験学習モデルへのシフトへ CompTIA認定資格を活用

業界動向を反映した認定資格の導入で、さらなる高みを目指す



株式会社 TOKAIコミュニケーションズ

静岡県静岡市葵区常磐町2丁目
6番地の8
www.tokai-com.co.jp

「内製化研修を推進し、効果性を高めるために、CompTIA CTT+は、有効な資格です。」

エンジニアリング本部
プロジェクト推進部 部長

山下 浩史 様

導入のCompTIA認定資格

- CompTIA Cloud Essentials
- CompTIA Cloud+
- CompTIA Project+
- CompTIA CTT+

CompTIA日本支局

東京都千代田区三崎町3-4-9
水道橋MSビル7F
www.comptia.jp

CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるため、「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

取り組みの背景

- 従来の研修は、徹底的に情報を与え、受講者がそれを受け取るという「学習転移モデル」。自ら学ぶのではなく、何を教えて（伝えて）くれるのか期待をしまい、知識の定着度合いが低い
→ **激変する業界動向の波に、技術者を遅延なく乗せることを目的に、社内資産を有効活用し、技術者研修の内製化と「経験学習モデル」への移行に取り組む**



CompTIA CTT+ は、インストラクターとしての優れたコアスキル、アクション、行動が実践できる力を証明する業界横断型の認定資格です。準備、プレゼンテーション、コミュニケーション、ファシリテーション、評価を、時系列的に各段階で卓越した水準にあることを示すことができます。

- 業界で必要不可欠となったクラウド関連知識、スキルの共通言語の習得
→ **「業務」で得た知識、スキルを体系的に整理する機会や、「業務」で必要とされる知識、スキルを効果的に習得する機会提供を検討**



CompTIA Cloud Essentials は、クラウドコンピューティングの主な原理や概念について知識を持ち、ビジネス、技術的側面から見たクラウドコンピューティングの意義や導入によるメリット/デメリットを判断し運用できる知識とスキルを証明する認定資格です。



CompTIA Cloud+ は、クラウドの運用やサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するITエンジニアが必要とされるスキルとベストプラクティスへの理解を評価する認定資格です。2~3年のITネットワーク、ストレージ、データセンターなどでの業務経験を持つエンジニアを対象とし設計されています。

- 小・中規模のプロジェクトが大半な中で、スケジュール遅延や各種トラブルの調整による疲弊
→ **プロジェクトマネージャの育成強化。「目の前のプロジェクト」を成功に導くことが重要**



CompTIA Project+ は、小規模から中規模プロジェクトを遂行する際の知識を体系的に学習することができ、業界を問わずプロジェクトマネジメントに必要な標準知識とベストプラクティスに基づく実務能力を評価する認定資格です。

取り組み

- 「経験学習モデル」への移行
→ **CompTIA CTT+**を取得した技術者研修担当による「受講者中心主義」のもと、自らが考え、調べ、他者と共有し、知識の定着を図る
→ 技術系新入社員を対象にしたIT基礎研修を、外部講師から **CompTIA CTT+**取得の社員へ変更し、**コスト削減と知識の定着に効果**
→ 技術系新入社員全員に **CompTIA Cloud Essentials** の取得を推奨し、**新入社員研修期間中に全員が取得**
→ **技術スキルの循環を現場で効果的に行う旗手として、現場技術者のCompTIA CTT+の取得を検討**
- 技術者の取得目標にCompTIA認定資格をリストアップ
28年度中で、300名以上が **CompTIA Cloud Essentials** や **CompTIA Cloud+**を取得目標化
- プロジェクトマネージャの育成
CompTIA Project+（小・中規模対応）→ PMI PMP（大規模対応）

「CompTIA CTT+にまず驚いたのは、徹底した「受講者中心主義」でした。今までの学習転移モデルから「経験学習モデル」へ意識や行動を完全に移行しなければならず、講師として話し続けるような立ち居振る舞いではなく、受講者への効果的な発問を繰り返し、講義内容を組み立てるといった点が求められます。これは、今までの研修を企画する上ではなかった視点でしたので、多少戸惑いを覚えました。新入社員対象のIT基礎研修を進めるにあたり、CTT+で得た知識、スキルを実践することで、推奨していた **CompTIA Cloud Essentials** を全員合格に導きました。これまで配属後にたまに受けていた「知識が身に付いていない」などの現場からのクレームは、現時点で全くありません。」

エンジニアリング本部 プロジェクト推進部 ITプロフェッショナル育成課
井上 知明 様

取り組み

- AWSに対応できる技術者の育成
AWS Partner Network アドバンスドコンサルティングパートナーであることから、技術者の育成は急務
→ **CompTIA認定資格**と組み合わせ、効果的な育成施策を検討中

